

☆📷 平成 29 年 5 月のオープンを目指し
「道の駅」(仮称) 函南安全祈願祭



▲工事の安全を祈願し、あいさつを行う森町長

1月27日、塚本地内で「道の駅」(仮称) 函南建設工事の安全祈願祭が行われ、PFI 建設事業者、町議会議員、団体関係者、職員などが出席し、安全を祈願しました。

建設する道の駅は、敷地面積約 13,000㎡で木造(一部鉄骨)の北側 2 階建て、南側 1 階建ての道の駅で、北側には交通安全情報や広域情報発信施設、物産販売施設、飲食施設、南側には防災倉庫やコミュニティ広場などを予定しています。

同施設は平成 29 年 5 月の完成を目指します。また、道路を隔てた狩野川沿いには国土交通省による河川防災ステーション(川の駅)の整備も進められています。

☆📷 動物とのふれあいを楽しむ
さくら保育園でふれあい牧場

2月5日、函南さくら保育園でふれあい牧場が開催されました。

ふれあい牧場は、函南町・三島市・沼津市・長泉町の酪農家がつくる北豆酪農研究会の主催で行われ、園児が動物と触れ合う機会をつくってあげたいと 20 年以上前から行われています。

園児たちは、牛の乳搾り体験やポニーへの乗馬、子牛へミルクあげなどを行い、動物とのふれあいを楽しみました。

また、丹那牛乳を使用したバターを使ったじゃがバターが振る舞われ、地産地消・食育についても学びました。



▲牛の乳搾り体験をする園児

☆📷 第 40 回函南町駅伝大会
タスキをつないでゴールを目指す



▲農村環境改善センター前をスタートする選手たち

2月7日、第 40 回函南町駅伝大会が開催されました。

駅伝大会には、一般の部 18 チーム、中学生男子の部 25 チーム、中学生女子の部 15 チーム、合計 58 チームが参加しました。

駅伝大会は、農村環境改善センター前をスタートし、丹那盆地周辺の山間地や柏谷公園付近の市街地を駆け抜けて、文化センターのゴールを目指して町内 6 区間 20.5km をタスキでつなぎました。

選手たちの力強い走りに、沿道からたくさんの声援が送られました。

☆📷 「久保ちゃん」の経験を参考に
パパ・ママ力 UP 講座



▲インタビューをする久保さん(写真中央)

1月17日、函南町文化センターでパパ・ママ力 UP 講座が行われました。

同講座には、約 150 人が参加。講師にはテレビやラジオなどで活躍するタレントの久保ひとみさんを招き、「み〜んな、元気に、大きくな〜れ!」をテーマに講演が行われました。

レポート体験の裏話や食レポ体験、インタビューなどで会場の雰囲気をもたせ、その後の講演で、自らの子育てと仕事の両立の仕方、旦那や子どもとの接し方について「パパに手伝ってもらったらお礼は必ず言う。子どもにはあいさつだけはしっかりさせる」。など自らの経験を踏まえた秘訣を話してくれました。

☆📷 函南・伊豆の国市の児童 6 人が全国入賞
マナーキッズショートテニス

このほど、東京で開催された第 11 回マナーキッズショートテニス全国大会で、ワン・テニス・アカデミー(伊豆の国市)所属の増田未来さん(柏谷)、松浦真由さん(畑毛)のペアが 2 年生女子の部で、齋藤愛里さん(柏谷)、浅井珠實さん(伊豆の国市)さんペアが 6 年生女子の部で 3 位に入賞。出口由羅さん(柏谷)、鈴木さえさん(伊豆の国市)ペアがマナー賞に選ばれたことを森町長に報告しました。

「コートやボールが変わり、とても苦労していた。子ども達がうまく順応してくれた成果が入賞につながった」とコーチが入賞の要因を話してくれました。



▲森町長に全国入賞を報告する児童 6 人

☆📷 幼小中 7 教諭が受賞
函南町教育研究奨励賞



▲渡邊教育委員長から賞状を受け取る受賞者(写真左)

1月21日、函南町役場で平成 27 年度函南町教育奨励賞授与式が行われました。

同賞は町内の幼小中の教諭の研究意欲と資質の向上を目的に行われ、授与式には教育委員や教育奨励賞検討委員など 32 人が参加しました。受賞者は渡邊教育委員長から表彰を受けました。その後、「よりよい支援を継続して受けられる体制づくりを目指して」「話す力・聞く力を高めるための授業づくり」「友達とのかかわり」など各教諭 10 分程度の研究発表を行いました。

潮木教育長から受賞者に「引き続き研究に取り組んで、教員として今後も成長を続けていってください」とお祝いの言葉が送られました。